

小佐野記念財団助成金実績報告書（HP掲載用）

1. 事業名

日独共同による知られざるバッハ作品の上演

2. 事業主体（個人名又は団体名）

合唱団『甲府コレギウム・アウレウム』

3. 事業実施日・場所

北杜市八ヶ岳やまびこホール 3月2日

聖心女子大学（東京渋谷区） 3月3日

4. 事業の目的

ドイツ・ワイマール音楽大学教授のアレクサンダー・グリヒトリク氏を迎え、彼が再構成した J.S. バッハの〈受難オラトリオ〉を日本初演する。音楽界において極めて重要な作曲家の J.S. バッハの楽曲の復元プロジェクトであり、バッハの研究者への情報提供に貢献するのみならず、一般の愛好家への大きな話題提供とする。また、山梨県出身・在住の音楽家とグリヒトリク氏が交流することにより、若い人材の国際交流を図る。

5. 事業の実績内容（概要と事業状況写真を添付）

2月23日に来日したアレクサンダー・グリヒトリク氏と東京でリハーサルを2回行い、2月29日は甲府入りして山梨大学でリハーサル。英語でのリハーサルは学生への大きな刺激になった。



グリヒトリク氏は若い音楽家を指導しつつ、この意義深いプロジェクトに共に取り組もうと提案をしてくれた。わが団の常任指揮者片野氏はドイツ音楽に造詣が深く、グリヒトリク氏との協働のため、楽譜の制作、オーケストラの手配、作品解説など周到に準備されていた。

2公演とも演奏の前に音楽学者による楽曲解説が行われ、ふだんこの種の音楽を聞き慣れない人にも楽しんでもらえるような工夫を行った。また平易な解説書と専門的なプログラム冊子を2種類用意し、多くの人に満足いただけるよう配慮した。



3月1日北杜市やまびこホールでのゲネプロの様子。（左）

東京渋谷にある聖心女子大学でのリハーサルの様子。（右）



6. 事業の効果

3月2日のやまびこホールでの公演は、北杜市教育委員会の協力もあって400人の定員を超えるほどの盛況であった。3時開演で終演が6時だったものの、終演後は何度もカーテンコールが行われるほど熱気に満ちた公演だった。

終演後は多くのお客様と交流をもつことができ、多くの方から合唱の素晴らしさ、ソリストの圧巻の歌唱、オーケストラの美しさに賛辞をいただいた。

学生には一流の音楽を体験してもらえ、社会人にとっても貴重なドイツ文化との交流の機会であった。

小佐野記念財団助成金実績報告書（HP掲載用）

1. 事業名

スペインでバスケットと国際交流

2. 事業主体（個人名又は団体名）

特定非営利活動法人バスケットボールスターズ

3. 事業実施日・場所

2023年7月9日～23日、スペイン・バルセロナ

4. 事業の目的

バスケットボール世界ランク2位のスペインでキャンプに2週間参加し、バスケットボールを通して現地の選手やコーチと触れ合ったり、寮での生活をする中で国際感覚を身に付ける

5. 事業の実績内容（概要と事業状況写真を添付）

スペインのバルセロナにて弊法人の指導者1名（7月9日～16日）と甲府市の選手1名（7月9日～23日）の合計2名で「スペインでバスケットと国際交流」の事業を実施した。現地では指導者、選手共にスポーツアカデミーの寄宿舎に滞在しながら、世界中から集まったスポーツ選手と寝食を共にした。バスケットボールは宿舎から徒歩20分ほど離れた ITW Sport というクラブチームで、日本人は私たちのみという環境の中、地元の選手とプレーをした。このクラブでは、専用の体育館で小学生～高校生まで約40名のプレーヤーが集い、夏の期間の成長の場としてこのバスケットボールキャンプで切磋琢磨していた。選手だけでなく、指導者も4日間（各2時間程度）クラブでコーチングする機会を得て、地元の選手たちとバスケットボールを通して直に交流をすることができた。



バスケットボールキャンプに参加をした選手とコーチ陣の集合写真



本事業の参加者が現地でプレーをしている様子



U18 の選手を指導する本事業の指導者



現地の U12 の子どもたちにバスケットボールを指導する様子



事業参加者のルームメイト（インド出身）。この施設にはヨルダン、ベネズエラ、チリなど世界各国から選手が集まっていた



カフェテリアの様子。昼と夜はここで食事が提供された。

6. 事業の効果

本事業については昨年度に貴財団で助成して頂いた事業「スペインから学ぶバスケット哲学」において、山梨県で指導をしたスペイン出身のネストロ氏より本事業を実現するために多くの助言を頂いた。今回、実際に現地へ渡り、バスケットボールを通じた国際交流を、より発展した形を展開できたことを大変嬉しく思う。来年度はさらに内容を充実させて、山梨県から世界へ羽ばたく選手を増やし、国際交流を深化させていきたい。

小佐野記念財団助成金実績報告書（HP掲載用）

1. 事業名

第50回スポーツ少年団日独同時交流受入事業地方プログラム

2. 事業主体（個人名又は団体名）

公益財団法人日本スポーツ協会日本スポーツ少年団

公益財団法人山梨県スポーツ協会山梨県スポーツ少年団

3. 事業実施日・場所

事業実施日：令和5年8月5日（土）～8月9日（水） ※5日間

場 所：山梨県笛吹市 他

4. 事業の目的

本交流は、日独両国のスポーツ少年団の優れた青少年および指導者の相互交流により友好と親善を深め、国際的能力を高めると共に、両国の青少年スポーツの発展に寄与することを目的に実施した。

5. 事業の実績内容（概要と事業状況写真を添付）

- 8月5日 歓迎レセプション
- 8月6日 アイスブレイク・テーマディスカッション
- 8月7日 観光・視察
- 8月8日 高校生・スポーツ少年団交流事業、桃狩り
- 8月9日 博物館見学、お別れ会



6. 事業の効果

青少年教育の促進、また、参加する若者たちが、両国の文化・社会・政治・経済を知ることにより、友好と親善を深め、グローバル化した世界における自分の現況と立場を認識する能力を身につけるため交流した。

さらに、異文化適応能力の向上の動機づけにした。

小佐野記念財団助成金実績報告書（HP掲載用）

1. 事業名

やまなしグローバルフェスタ2023

2. 事業主体（個人名又は団体名）

NPO 法人グローバルビジョン

3. 事業実施日・場所

2023年7月8日

甲府駅北口アシストエンジニアリングよっちゃばれ広場

4. 事業の目的

- ▶ 山梨県に住む外国の方々との国際交流と多文化共生の促進を行うとともに、国連の定める持続可能な目標 SDGs を地域に周知し、山梨県の国際化を推進する。

5. 事業の実績内容（概要と事業状況写真を添付）

- ▶ フェスティバルテーマ「五感で楽しむ国際交流」「つながるひろがる笑顔と文化」 コロナで失った絆を取り戻す



6. 事業の効果

多くの団体と外国人が参加していただき、国際交流ができた。

井後半以降は旧統一教会は選挙の支援を申し出るなどして政界に浸透。高額献金被害も明らかに。文化庁は解散命令請求も視野に調査を進めている。事件を受けて警察庁が対応を強化していたが、今年4月、和歌山市で応援演説しようとしていた岸田首相に向けて爆発物が投げ込まれる事件が起きた。

●関連記事3面

(47)は「時ほしい。大優しい人だ絞った。執り行われ上等では一設置、安倍られた。数えず、老若た。」

式妨害の疑いで住所、氏名不詳の20代ぐらいの男を現行犯逮捕した。黙秘しているという。署によると不審物は複数の棒を黒いビニールテープで巻いたもので、危険性はない。男が掲げたのは銃撃事件の発生時刻にはば重なる時間帯で、市民らが黙とうをささげている。妨害行為によって現場で怒号が飛び交い、一時騒然となった。

花妨害 犯逮捕

場一時騒然

銃撃事件1が行われて件現場付近な形をしたとして、奈良罪法違反儀現場で取り押さえた。

中央道



▽山梨県民と県内在住外国人の交流イベント「やまなしグローバルフェスタ」が8日、JR甲府駅北口のアシストエンジニアリングよつちやばれ広場などで開かれ、写真、多くの来場客でにぎわった。

▽NPO法人グローバル



ビジョン(甲府市)や青洲高の実行委員会などが企画。タイや韓国の料理を販売するブースを設け、ステージでは各国のダンスも披露した。▽:「いろいろな国の文化を、食べて見て学んでもらえたら」。青洲高3年の渡辺ゆいさんは、五感を交えた楽しみ方を勧めていた。

新聞に掲載していただいた。

小佐野記念財団助成金実績報告書（HP掲載用）

1. 事業名

第20回やまなし留学生スピーチコンテスト

2. 事業主体（個人名又は団体名）

特定非営利活動法人大学コンソーシアムやまなし：やまなし留学生スピーチコンテスト企画委員会

3. 事業実施日・場所

2023年12月9日（土）・山梨県立図書館イベントスペース
（甲府市北口2-8-1）

4. 事業の目的

山梨県内の大学・短期大学に在籍する留学生の日本語能力の向上を図ること、留学生と日本人学生・山梨県民との交流を図ること、留学生の修学支援を目的として開催する。

5. 事業の実績内容（概要と事業状況写真を添付）

2023年12月9日（月）に大学コンソーシアムやまなし・やまなし留学生スピーチコンテスト実行委員会主催による第20回やまなし留学生スピーチコンテストが、山梨県立図書館1階のイベントスペースにおいて開催された。当日の参加者は、105名（対面82名・オンライン23名）であった。

このコンテストは、「①留学生の日本語能力の向上」、「②留学生と日本人の交流の機会の提供」、「③学生の企画力・運営力の育成」を目的に2004年より開催されている。今回は、山梨県内の大学に在籍するアメリカ、インドネシア、スペイン、タイ、中国、ベトナム、ベルギー、ポーランド、メキシコ、モンゴルからの留学生16名が、「私がここで頑張る理由」をテーマに日本語による5分間のスピーチを行った。今年度もリモート（Zoom）でコンテストの様子をライブ配信し、海外から発表者の関係者らが視聴した。またスピーチの後には、山梨高校書道部の生徒による書道パフォーマンスの披露と参加者がうちわに毛筆を使い思い思いの「文字」を書き入れる体験を行った。

当日の審査と各賞のプレゼンターは、井上雅博（アドヴォネクスト代表取締役社長）、加藤順彦（多文化リソースセンターやまなし代表理事）、小宮山嘉隆（山梨県外国人活躍推進監）、浜野邦彦（日本銀行甲府支店長）、藤原和昭（NHK甲府放送局支局長）の5名が行った。審査の観点には日本語能力、表現力、構成力、発想力、論理的思考力であった。

本コンテストのテーマ設定、要項の作成、協賛・後援の依頼、ポスター・チラシの製作、広報、当日の運営については県内の大学生11名が企画委員となっ

で行っている。山梨県内の大学生であれば誰でも履修できる大学コンソーシアムやまなしの単位互換科目「企画・マネジメント演習Ⅰ・Ⅱ」の授業の一環でもある。

入賞者は以下の通り。

第1位 呉 奕帆（中国：都留文科大学）賞金 5 万円

第2位 de los Rios Camila（メキシコ：山梨学院大学）賞金 3 万円

第3位 スコニェチュニ・フィリップ（ポーランド：山梨学院大学）賞金 2 万円

印傳屋賞 Hill, Joshua Dennis（アメリカ：山梨学院大学）副賞として印傳のバッグ

アドヴォネクスト賞 SINVIRIYAKUL KANYAMAS（タイ：山梨学院大学）副賞として県産ブランド米 10kg

コラニー・ダイヤモンド賞 NGUYEN THI NGAT（ベトナム：山梨学院大学）副賞としてパールピアス

サドヤ賞 WU YICHEN（中国：都留文科大学）副賞としてワイン 6 本

山梨賞 劉 恩赫（中国：山梨学院大学）副賞として富士山写真フレーム

審査員特別賞 ムハマッド ルーフィ ナウファル リザル（インドネシア：山梨学院大学）賞金 1 万円



図 1. コンテストの様子



図 2. 交流事業（山梨高校書道部による書道パフォーマンスとうちわに文字入れ）



図 3. 表彰式

6. 事業の効果

やまなし留学生スピーチコンテスト実行委員会は、山梨県内の 8 大学、民間企業 2 社と学生企画委員会が構成し、これまで 20 回のスピーチコンテストを開催してきた。コンテストの企画・運営については学生企画委員会がスピーチのテーマ・交流事業の検討、ちらし・ポスターの作成や周知活動、当日の運営までを担っている。留学生はテーマに沿った内容を日本語で 5 分間のスピーチを行い、専門家による審査の上、優秀な発表者には表彰式において賞金や副賞の授与を行っている。後援や協賛などについては山梨県内の自治体や民間企業など産学官の協力が欠かせないものとなっている。本コンテストでは交流事業も行っており、交流事業については留学生が留学中に多くの山梨県民や他大学の留学生と交流してもらい、日本文化の体験を通して山梨で新しい発見を見つけたいと考えている。過去の交流事業においては、甲府第一高校箏曲部による箏の演奏や駿台甲府高校茶道部によるお手前体験などがあり、今年度は山梨高校書道部による書道パフォーマンスの披露を行った。

2004 年からスタートしたやまなし留学生スピーチコンテストは今年 20 周年を迎え当初は参加学生も十数人であったが、回を重ねることに参加者も増え、2007 年からは延べ参加者数が 30 名～40 名を推移していた。しかしながら 2020 年には新型コロナウイルス感染症が流行し開催事態が危ぶまれたが、実行委員会では「そのような社会情勢であるからこそ留学生には明るい目標を持ってもらいたい」という信念の元、感染症対策を万全にとりスピーチコンテストを開催し 20 年間スピーチコンテストは継続して開催してきた。

これまでやまなし留学生スピーチコンテストに参加した留学生延べ参加者は 565 名、参加地域はアジアを初めとしてヨーロッパ、北米、アフリカ、中南米などの 26 ヶ国にのぼり、本コンテストに出場した学生の中には現在、山梨県内で就職し日本と母国の架け橋となり活躍している学生もいる。また、大会の様子を Zoom 配信することにより、海外在住の山梨関係人口の創出にもつながっている。

これらのことからやまなし留学生スピーチコンテストは単に留学生だけが対象となっているわけではなく、山梨県民をはじめとして自治体、企業、大学、高校、国際交流関係者など幅広いステークホルダーとつながっており、今後の山梨発展のためにグローバルな観点からも地域に貢献していると考えられる。

日越外交関係樹立50周年記念 やまなし観光物産プロモーション実績報告書

1. 目 的

1973年9月21日、日本とベトナムの外交関係樹立以来、国・自治体・民間の交流関係は今までになく緊密になっており、今後、訪日旅行や地場産品の輸出促進、人材の供給国などとして、ベトナムとの関係強化は益々重要となってきている。

日越外交関係樹立50周年に当たる本年9月には、首都ハノイを中心に記念行事が実施される予定であり、このタイミングはベトナムとの国際交流を深めるには絶好の機会であると捉えている。

そこで本実行委員会では、実際に現地に関係者が赴き、現地の方々と交流する中で山梨県の魅力や県産品に関する説明などを行うとともに、実際に経済交流できるようプロモーションおよび商談会を開催する。

1. 期 間 令和5年10月8日（日）～12日（木）（5日間）

2. 場 所 ベトナム社会主義共和国 ハノイ及びホーチミン

3. 構成メンバー

主 催：日越外交関係樹立50周年記念やまなし観光物産プロモーション実行委員会
（甲府商工会議所、北杜市、JETRO 山梨、山梨県酒造組合）

共 催：在ホーチミン日本国総領事館（ホーチミン開催時）

後 援：山梨県

4. 事業の概要

日越外交関係樹立50周年記念を冠したイベントを、在外公館（ハノイおよびホーチミン）を利用して各1回開催する。なお、日本独自の文化である日本酒について、より理解を深めてもらえるよう、「Sakeの教科書」（Jetroホーチミン編集）を製本して参加者に配布する。

ハノイプロモーション

日 時：令和5年10月9日（火）午後2時～4時

場 所：在ベトナム日本国大使館 広報文化センター

内 容：第一部：14:00～14:20 やまなし魅力説明会（2階）

第二部：14:20～16:00 観光プロモーション・物産の試飲・試食&商談会

出展者 日本酒 山梨銘醸(株)、太冠酒造(株)、(株)八巻酒造店、

ワイン 丸藤葡萄酒工業(株)、アルプスワイン(株)

食 品 やまなしご当地レトルトカレー協会

観 光 北杜市、(株)セラヴィリゾート泉郷、(株)クリエイティブリゾート

その他 素朴屋(株)、

ホーチミンプロモーション

日 時：令和5年10月11日（水）午後2時～4時

場 所：在ホーチミン日本国総領事公邸

内 容：第一部：14:00～14:20 やまなし魅力説明会（2階）

第二部：14:20～16:00 観光プロモーション・物産の試飲・試食&商談会

出展者	日本酒	山梨銘醸(株)、太冠酒造(株)、(株)八巻酒造店、
	ワイン	中央葡萄酒(株)、丸藤葡萄酒工業(株)、アルプスワイン(株)
	食 品	やまなしご当地レトルトカレー協会、(株)シャトレーゼ
	観 光	北杜市、(株)セラヴィリゾート泉郷
	その他	素朴屋(株)

ハノイプロモーション



会場で配布した「Sakeの教科書」



上村北杜市長が観光情報の説明



観光の説明を真剣に聞く来場者



日本酒について質問する来場者



日本酒を注ぎながら日本酒の説明をした



身振り手振りで日本酒の説明をする



観光パンフレットも配布した



クリエイティブリゾートのブース



県産ワインについて来場者と語らう



日本酒、ワインとペアリングしたフィンガーフード

ホーチミンプロモーション



会場入り口に掲出された看板



受付風景



主催者を代表して雨宮甲府商工会議所副会頭があいさつ



共催者として小野総領事があいさつ



挨拶に聞き入る来場者



北杜市は職員による横笛の披露のち観光説明



富士山型のグラスをPRする



来場者に日本酒の説明



来場者と名刺交換



自社商品を見せながら説明



日本酒には強い関心



オレンジワインに興味を示す



甲州ワインの説明も



シャトレゼブースは人だかりが



素朴屋ブースではお茶がふるまわれた



ホーチン市政府の要人も招聘



日本酒、ワインとペアリングしたフィンガーフード

小佐野記念財団助成金実績報告書（HP掲載用）

1. 事業名

台湾桃園市での「少年軟式野球交流大会」出場、ならびにホームステイを通しての文化交流事業

2. 事業主体（個人名又は団体名）

（一社）少年軟式野球国際交流協会 山梨支部

3. 事業実施日・場所

令和5年12月26日～12月30日
台湾桃園市楊梅区

4. 事業の目的

現地家庭にホームステイしながら、台湾桃園市にて開催される『少年野球交流大会』に出場し、参加チームおよび現地小学生と交流を図るとともに、本県少年の国際交流の基礎を築くことを目的とする。

5. 事業の実績内容

台湾桃園市の楊梅區楊心國民小學校からの招聘を受け、令和5年12月26日から12月30日の4泊5日の日程で台湾桃園市に滞在し、野球とホームステイを通して文化ならびにスポーツの交流を図りました。

・野球交流活動

現地の小学校2チームと合計4試合行い4戦全勝で優勝しました。

・ホームステイ事業

楊心小学校野球部の選手のお宅に二人一組でホームステイし、日常生活から文化や習慣の違いを肌で感じる事ができました。

また、学校訪問により授業への参加やDIY活動をすることができ、現地の小学生とも交流を深めることができました。

6. 事業の効果

小学生の時に外国の文化や習慣に接することにより異文化への興味や関心が高まったと思います。

また、今回お世話になった台湾の方々とはSNSなどを通じ、今後も交流が続いていくと思います。



